

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ概論		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	8単位(120時間)	必須	川人 宏行
授業の概要				
経営戦略、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、コンピュータのハードウェア/ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、職業人となり機器およびシステムの把握や、担当業務の遂行およびシステム化を推進するために必要な基礎的な知識を習得する				
授業終了時の到達目標				
ITパスポート試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エンジニアとして5年間勤務 社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『概要』、『コンピュータの種類』、『入力装置』、『出力装置』、『コンピュータの基本構成』		
2	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『プロセッサ』、『メモリ』		
3	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『補助記憶装置』、『記憶階層』		
4	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『入出力インターフェース』 第1部第1章まとめ①		
5	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『情報(データ)の表現』、『文字コード』		
6	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『2進数』、『集合/論理演算』		
7	第1部コンピュータシステム 第1章ハードウェア	以下の内容を理解する 『確率/統計』 第1部第1章-まとめ②		
8	第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア	以下の内容を理解する 『概要』、『オペレーティングシステム』、『OSの種類』、『ファイルシステム』		
9	第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア	以下の内容を理解する 『バックアップ』、『ソフトウェアパッケージ』、『表計算ソフト』、『ワープロソフト』		
10	第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア	以下の内容を理解する 『オープンソースソフトウェア』 第1部第2章-まとめ①		

回	テーマ	内容
11	第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア	以下の内容を理解する 『マルチメディア技術』、『マルチメディアのファイル形式』、『グラフィックス処理』、『マルチメディア技術の応用』
12	第1部コンピュータシステム 第2章ソフトウェアとマルチメディア	以下の内容を理解する 『ヒューマンインタフェース』、『Webデザイン』 第1部第2章②-まとめ
13	第1部コンピュータシステム 第3章システム構成	以下の内容を理解する 『システムの形態』、『システムの構成』、『システムの評価指標』
14	第1部コンピュータシステム 第3章システム構成	以下の内容を理解する 『稼働率』 第1部第3章-まとめ
15	第1部コンピュータシステム	以下の内容を理解する 第1部のまとめ①
16	第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース	以下の内容を理解する 『概要』、『関係データベースの設計』、『データの正規化』
17	第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース	以下の内容を理解する 『関係データベースのデータ操作』、『データベースの保全機能』
18	第2部コンピュータの技術要素 第1章データベース	以下の内容を理解する 『データベースのリカバリ機能』、『NoSQLとビッグデータ』 第2部第1章-まとめ
19	第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク	以下の内容を理解する 『概要』、『ネットワークの基本構成』、『LAN間接続装置』
20	第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク	以下の内容を理解する 『通信プロトコル』、『インターネットの仕組み』
21	第2部コンピュータの技術要素 第2章ネットワーク	以下の内容を理解する 『インターネットのサービス』、『通信サービス』 第2部第2章-まとめ
22	第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ	以下の内容を理解する 『概要』、『情報セキュリティの脅威(1)』、『情報セキュリティの脅威(2)』
23	第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ	以下の内容を理解する 『情報セキュリティ管理』、『情報セキュリティ対策』
24	第2部コンピュータの技術要素 第3章情報セキュリティ	以下の内容を理解する 『アクセス制御』、『暗号化/デジタル署名』 第2部第3章-まとめ
25	第2部コンピュータの技術要素	以下の内容を理解する 第2部のまとめ①
26	第3部システム開発 第1章アルゴリズムとプログラミング	以下の内容を理解する 『概要』、『データ構造』、『アルゴリズム』、『プログラミング言語』
27	第3部システム開発 第1章アルゴリズムとプログラミング	以下の内容を理解する 『マークアップ言語』 第3部第1章-まとめ
28	第3部システム開発 第2章システム開発技術	以下の内容を理解する 『概要』、『システム開発プロセス』、『ソフトウェア実装プロセス』

回	テーマ	内容
29	第3部システム開発 第2章システム開発技術	以下の内容を理解する 『ソフトウェア開発管理技術』、『テスト工程』、『保守プロセス』
30	第3部システム開発 第2章システム開発技術 第3章マネジメント	以下の内容を理解する 第3部第2章-まとめ 『概要』、『プロジェクトマネジメント』
31	第3部システム開発 第3章マネジメント	以下の内容を理解する 『プロジェクトタイムマネジメント』、『その他の知識エリア』
32	第3部システム開発 第3章マネジメント	以下の内容を理解する 『サービスマネジメント』、『サービスサポート/サービスデリバリ』、『ファシリティマネジメント』
33	第3部システム開発 第3章マネジメント	以下の内容を理解する 『監査業務』 / 『内部統制』 第3部第3章-まとめ
34	第3部システム開発	以下の内容を理解する 第3部のまとめ①
35	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『概要』、『企業活動』、『経営組織』
36	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『業務分析(1)』、『業務分析(2)』
37	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『問題解決手法』、『意思決定』
38	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 第4部1章まとめ① 『企業会計(財務会計)』
39	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『企業会計(管理会計)』、『知的財産権(1)』
40	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『知的財産権(2)』、『セキュリティ・労働・取引の関連法規』
41	第4部企業活動と情報システム 第1章企業と法務	以下の内容を理解する 『ガイドライン・技術者倫理』、『標準化関連』 第4部第1章まとめ②
42	第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略	以下の内容を理解する 『概要』、『経営戦略』、『経営情報分析手法』、『マーケティング』
43	第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略	以下の内容を理解する 『ビジネス戦略』、『技術開発戦略』、『経営管理システム』
44	第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略	以下の内容を理解する 『ビジネスシステム』、『エンジニアリングシステム』
45	第4部企業活動と情報システム 第2章経営戦略	以下の内容を理解する 『e-ビジネス(電子商取引)』、『民生機器/産業機器』 第4部第2章まとめ
46	第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略	以下の内容を理解する 『概要』、『情報システム戦略』、『業務プロセスの調査・分析』
47	第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略	以下の内容を理解する 『業務改善』、『ソリューションビジネス』

回	テ ー マ	内 容		
48	第4部企業活動と情報システム 第3章システム戦略	以下の内容を理解する 『システム企画』 第4部第3章まとめ		
49	第4部企業活動と情報システム	以下の内容を理解する 第4部のまとめ①		
50~ 59	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題を繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
60	期末試験	ITパスポート試験の出題範囲より総合的に確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・身に就く！合格！ITパスポート ・身に就く！合格！ITパスポートサブ ノート		出席率 確認テスト 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習 I		国際 IT エンジニア学科セキュリティコース (3年)	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位 (90時間)	必須	采元健二
授業の概要				
コンピュータネットワーク構築に必要な知識を習得し、ネットワーク機器を使った実習を交えながら教室内の LAN (ローカルエリアネットワーク) 構築を行う。				
授業終了時の到達目標				
コンピュータネットワークの仕組みを理解すると共に各種用語を覚える。また、LAN (ローカルエリアネットワーク) を構築でき、他のコンピュータが持つリソースの活用とプリンター等の共有設定を身に付ける。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ネットワークを学ぼう	ネットワークとはそもそも何？ コンピュータネットワークを利用する長所を知ろう		
2	ネットワークを学ぼう	データ通信とは？ LANとは？ WANとは？ インターネットとイントラネットの違いを知ろう		
3	データはネットワークをどう流れる？	Web ブラウザから Web サーバーへ Web ブラウザから OS、OS から LAN		
4	データはネットワークをどう流れる？	LAN からインターネット、インターネットからサーバー側の LAN、LAN から Web サーバー		
5	用語整理	これまでの用語をプリントに整理する		
6	【用語確認テスト】	用語確認テスト		
7	ネットワークモデルを知ろう	OSI 参照モデル、プロトコル、カプセル化とは？		
8	【モデル確認テスト】	モデル確認テスト		
9	ネットワークモデルを知ろう	物理層～アプリケーション層の役割を知ろう TCP/IP モデルと OSI 参照モデルの関係		
10	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	物理層におけるプロトコルを知ろう ハブとは データリンク層におけるプロトコルを知ろう		
11~12	【実習 1】	LAN ケーブルの作成 ストレートケーブル、クロスケーブル		
13	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	イーサネットとは MAC アドレスとは スイッチとは ネットワーク層におけるプロトコルを知ろう		
14	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	IP アドレスとは ルーターとは		

15	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	インターネットVPNとは TCPとは UDPとは セッション層、プレゼンテーション層、アプリケーション層
16	プロトコル整理	これまでのプロトコルをプリントに整理する
17	【プロトコル確認テスト】	プロトコル確認テスト
18	【実習2】 【実習3】	ノートパソコンのIPアドレスを確認 パソコンとパソコンを直接接続（2人組）
19	【実習4】 【実習5】	パソコンとパソコンをスイッチ経由で接続（3or4人組） 実習4アレンジ（ネットワークアドレスの変更）
20～ 22	【実習2～5課題】	実習課題（1人）
23	ネットワーク内のサーバーの種類を知ろう	ファイルサーバーの働きを知ろう プリントサーバーの働きを知ろう
24	【実習6】 【実習7】	ファイル共有 プリンタ共有
25～ 26	【実習6,7課題】	実習課題（1人）
27	ネットワーク内のサーバーの種類を知ろう	データベースサーバー、SMTPサーバー POP3/IMAP4サーバー、FTPサーバー
28	ネットワーク内のサーバーの種類を知ろう	アプリケーションサーバー、DHCPサーバー その他のサーバー、DNSによる名前解決
29～ 30	【全員実習_有線LAN】	全員のパソコンをネットワークで繋ぎファイル・プリンタ共有を行う
31～ 32	【実習課題】	2台のパソコン設定を調べ通信できるかを確認し、できない場合はアドレスを再設定し通信できる状態にする。
33	【実習8】	無線LANの準備
34	【実習9】 【実習10】	無線親機のリセット エアステーション設定ガイドを読む
35	【ファームウェア演習】	ファームウェアの理解と更新
36	【実習11】	無線親機の設定とPC接続&ファイル共有
37	【実習12】	無線親機の設定（マックアドレス制御）
38	【実習13】	無線親機のDHCP設定
39	【実習14】	無線親機のルータ設定
40	【実習課題_グループ】	ネットワーク構築（DHCPなし）
41	【実習課題_個人】	ネットワーク構築（DHCPなし）

42	【実習課題_グループ】	ネットワーク構築 共有プリンタ（DHCPなし）		
43	【実習課題_個人】	ネットワーク構築 共有プリンタ（DHCPあり）		
44	ネットワークの管理と運用をしよう	管理と運用とは 必要なコスト 管理者の仕事		
45	ネットワークの管理と運用をしよう	情報収集 データ保護対策 バックアップ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
今すぐ使えるかんたんネットワークのしくみ超入門		出席率 授業態度 確認テスト 実習・実技評価	10.0% 40.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サーバー構築演習 I		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	片山 満久

授業の概要

Linuxサーバの構築

授業終了時の到達目標

Linuxの基本コマンドを習得する

目的に応じたサーバー構築が出来る知識を習得する

実務経験有無 実務経験内容

有

コンピューターに関わり32年の実務経験
 これまでのシステム開発の経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1	Linuxとは OSインストール(CUI)	Linuxの概要と歴史 CentOSをVirtualboxへインストールする
2	OSインストール(CUI)	CentOSをVirtualboxへインストールする TeraTermをインストールする
3	SSH接続 シェルコマンド	ネットワーク設定 ユーザ管理
4	シェルコマンド	ユーザ管理 TeraTermを使いCentOSへ接続する
5	シェルコマンド	ファイル・ディレクトリ操作
6	シェルコマンド	ファイル・ディレクトリ操作
7	シェルコマンド	ファイル・ディレクトリ操作
8	viコマンド	viコマンドの設計思想と操作
9	viコマンド	操作
10	viコマンド	操作
11	セキュリティ管理	ファイル・ディレクトリのアクセス権
12	セキュリティ管理	ファイル・ディレクトリのアクセス権
13	セキュリティ管理	SELinuxについて
14	セキュリティ管理	SELinuxについて

回	テーマ	内容		
15	セキュリティ管理	SELinuxについて		
16	セキュリティ管理	パケットフィルタリング		
17	セキュリティ管理	ゾーン管理とパケットフィルタリング		
18	cockpit	cockpitについて cockpitの設定		
19	cockpit	cockpitを使った管理		
20	cockpit	cockpitを使ったコマンド操作		
21	Webサーバ構築	CentOSインストール		
22	Webサーバ構築	Apache+PHP+MariaDBインストール		
23	Webサーバ構築	Apache+PHP+MariaDBインストール Apache+PHP+MariaDB設定		
24	Webサーバ構築	Apache+PHP+MariaDB設定		
25	Webサーバ構築	Apache+PHP+MariaDB設定 動作チェック		
26	Webサーバ構築	PHPアプリケーションインストール		
27	Webサーバ構築	PHPアプリケーションインストール		
28	アプリケーションサーバの構築	テーマを決めサーバを構築する		
29	アプリケーションサーバの構築	テーマを決めサーバを構築する		
30	アプリケーションサーバの構築	テーマを決めサーバを構築する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
TECHNICAL MASTER はじめてのCentOS8 Linuxサーバエンジニア入門編		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語表現 I		国際 IT エンジニア学科セキュリティコース (3年)	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位 (90時間)	必須	橋本 恵
授業の概要				
日本語能力試験 N3 レベルの日本語力の定着と N2 試験対策のための学習を行う				
授業終了時の到達目標				
二年生の日本語能力試験 N2 レベルの日本語力の習得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション	二年生の目標確認のための日本語学習活動を行う		
2	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
3	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
4	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
5	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
6	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
7	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
8	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
9	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
10	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
11	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
12	音読・読解	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
13	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
14	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		

回	テ ー マ	内 容
15	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする
16	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
17	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
18	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
19	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする
20	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
21	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
22	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
23	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする
24	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
25	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
26	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
27	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする
28	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
29	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
30	文法	N 3 レベルの文法の確認と定着をする
31	日本語能力試験模試(言語知識・読解)	日本語能力試験模擬試験(言語知識・読解)に挑戦し、自分の習得度と弱点を知る
32	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
33	日本語能力試験模試(言語知識・読解)のフィードバック	習得度と弱点を知る
34	文法	N 3 ~N2レベルの文法の確認と定着をする
35	日本語能力試験模試(聴解)	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る

回	テ ー マ	内 容		
36	文法	N 3 ~N2レベルの文法の確認と定着をする		
37	日本語能力試験模試(聴解)の フィードバック	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る		
38	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
39	文法	N 3レベルの文法の確認と定着をする		
40	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
41	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
42~ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習をする		
45	期末テスト	期末テストを実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
TRY日本語能力試験N2		期末試験 確認テスト 出席率	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年制)/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	塩田 和正
授業の概要				
Cisco資格 CCNA資格を目指し、ルーティングとスイッチングの基礎を理解させる				
授業終了時の到達目標				
基本情報技術者試験 合格レベル CCNA 合格レベル(旧CCENT範囲まで)				
実務経験有無	実務経験内容			
有	システムエンジニアとして10年の経験			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ネットワークの仕組み	ネットワークの種類と特徴 ネットワークの基本構成 ネットワークの基礎技術		
2	ネットワークの仕組み	伝送制御手順 通信サービス		
3	ネットワークアーキテクチャ	ネットワークアーキテクチャとは OSI		
4	ネットワークアーキテクチャ	TCP/IP		
5	LAN	LANの基礎技術 その他のLAN技術		
6	インターネット	TCP/IPプロトコル		
7	インターネット	インターネットの基本構成 インターネットサービス		
8	ネットワーク管理	ネットワーク運用管理		
9	ネットワーク管理	ネットワーク管理手法		
10	IPv4アドレスとサブネット	IPv4アドレス		
11	IPv4アドレスとサブネット	サブネットワーク		
12	IPv4アドレスとサブネット	IPアドレッシングの計算		
13	IPv4アドレスとサブネット	VLSM		
14	CiscoIOSソフトウェアの操作	Ciscoデバイスへの接続		
15	CiscoIOSソフトウェアの操作	CiscoIOSのモード		

回	テーマ	内容
16	Cisco IOSソフトウェアの操作	IOS操作とヘルプ機能
17	Cisco IOSソフトウェアの操作	コンフィギュレーションの保存
18	Cisco IOSソフトウェアの操作	Cisco IOSの接続診断ツール
19	Cisco IOSソフトウェアの操作	演習①
20	Cisco IOSソフトウェアの操作	演習②
21	Catalystスイッチの導入	Catalystスイッチの初期起動
22	Catalystスイッチの導入	スイッチの基本設定
23	Catalystスイッチの導入	スイッチの基本設定の確認
24	Catalystスイッチの導入	MACアドレステーブル
25	Catalystスイッチの導入	2重モードと速度の設定
26	Catalystスイッチの導入	演習③
27	Catalystスイッチの導入	演習④
28	Ciscoルータの導入	Ciscoルータの初期起動
29	Ciscoルータの導入	ルータの基本設定
30	Ciscoルータの導入	ルータの基本設定の確認
31	Ciscoルータの導入	演習⑤
32	Ciscoルータの導入	演習⑥
33	ルーティングの基礎	ルーティング
34	ルーティングの基礎	スタティックルーティング
35	ルーティングの基礎	ダイナミックルーティング
36	ルーティングの基礎	経路集約
37	ルーティングの基礎	メトリックとアドミニストレーティブディスタンス
38	ルーティングの基礎	演習⑦

回	テーマ	内 容		
39	ルーティングの基礎	演習⑧		
40	Web教材による答練	Ping-tを使用した練習問題解答・解説		
41	Web教材による答練	Ping-tを使用した練習問題解答・解説		
42	Web教材による答練	Ping-tを使用した練習問題解答・解説		
43	Web教材による答練	Ping-tを使用した練習問題解答・解説		
44	Web教材による答練	Ping-tを使用した練習問題解答・解説		
45	期末テスト	Ping-tによる模擬問題 パケットトレーサーによるシミュレーション問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格 テキスト&問題集[対応試験]200-301		期末試験 実習・実技評価 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	[準備学習] 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サーバー構築演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年制)/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	3単位(120時間)	必須	片山 満久
授業の概要				
Linuxサーバの構築				
授業終了時の到達目標				
Linuxの詳細な基本管理事項を覚える。 GentOSのセキュリティを理解し設定する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		これまでの経験を活かしサーバ構築及び運用に必要な情報技術を指導する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	セキュリティ管理	SELinuxの設定(有効化、無効化)		
3~ 4	ネットワークサーバ構築	ルーターの設定		
5~ 9	ネットワークサーバ構築	NAPTサーバの設定		
10~ 14	DNSサーバ構築	GentOSをVirtualboxへインストールする DNSの設定		
15~ 17	運用管理	ユーザ管理とグループ管理		
18~ 19	運用管理	ログ管理、監視		
20~ 22	運用管理	サーバ監視		
23	シェルスクリプト 概要	シェルスクリプトの役割と基本的な記述方法		
24~ 26	シェルスクリプト 環境変数	環境変数について 環境変数の式		
27~ 29	シェルスクリプト 制御構文	制御構文		
30~ 32	CentOSセキュリティ対策	監視と検知 OSインストールとセキュリティパッケージ導入		
33~ 34	CentOSセキュリティ対策	監視と検知		
35~ 36	CentOSセキュリティ対策 SSH	SSHとは /etc/sshディレクトリ		
37	CentOSセキュリティ対策 SSH	鍵の生成と管理		

回	テ ー マ	内 容		
38～ 39	GentOSセキュリティ対策 SSH	ポート転送		
40～ 41	GentOSセキュリティ対策 SELinux	SELinuxのセキュリティコンテキスト・アクセス制御		
42～ 45	GentOSセキュリティ対策 SELinux	ポリシーの変更(Apache HTTP Server向け)		
46～ 48	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	ブートシステム		
49～ 50	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	パーティションとツール		
51～ 53	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	ファイルシステム構築		
54	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	スワップ領域		
55	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	不整合チェック		
56	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	バックアップとレストア		
57	ディスク管理とパーティショニング Linuxのディスク管理	クォータ		
58～ 60	課題	セキュリティを意識したサーバ構築		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
TECHNICAL MASTER はじめてのGentOS8 Linuxサーバエンジニア入門編		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策Ⅱ(セキュマ ネ)		国際ITエンジニア学科セキュリティ コース(3年制)/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	川人 宏行
授業の概要				
ITパスポートの試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
令和2年度 ITパスポート 合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エンジニアとして5年間勤務		
時間外に必要な学修				
IT用語、ビジネス用語を復習しておく				
回	テーマ	内容		
1~ 5	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
6	確認テスト実施	理解度の確認を行う		
7~ 11	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
12	確認テストを実施	理解度の確認を行う		
13~ 17	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
18	確認テストを実施	理解度の確認を行う		
19~ 23	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
24	確認テストを実施	理解度の確認を行う		
25~ 29	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
30	確認テストを実施	理解度の確認を行う		
31~ 35	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
36	確認テストを実施	理解度の確認を行う		
37~ 44	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
45	期末試験の実施	ITパスポート試験の出題範囲より総合的に確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	40.0%	
		確認テスト	30.0%	
		出席率	30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語表現Ⅱ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年制)/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	橋本 恵

授業の概要

日本語能力試験N2レベルの日本語力の定着とN2試験対策のための学習を行う
N1学習者に対しても試験対策を行う

授業終了時の到達目標

日本語能力試験N2レベルの日本語力の習得

実務経験有無

実務経験内容

時間外に必要な学修

教科書の次回学習範囲を読んでくること

回	テーマ	内容
1	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
2	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
3	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
4	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
5	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
6	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
7	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
8	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
9	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
10	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
11	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
12	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
13	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
14	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する

回	テ ー マ	内 容
15	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
16	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
17	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
18	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
19	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
20	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
21	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
22	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
23	中間テスト	中間テストを実施し理解度を確認する
24	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
25	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
26	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
27	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
28	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する
29	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
30	文法	N2レベルの文法の確認と定着をする
31	日本語能力試験模試(言語知識・読解)	日本語能力試験模擬試験(言語知識・読解)に挑戦し、自分の習得度と弱点を知る
32	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
33	日本語能力試験模試(言語知識・読解)のフィードバック	習得度と弱点を知る
34	文法	N1～N2レベルの文法の確認と定着をする
35	日本語能力試験模試(聴解)	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る

回	テ ー マ	内 容		
36	文法	N1~N2レベルの文法の確認と定着をする		
37	日本語能力試験模試(聴解)の フィードバック	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る		
38	音読・語彙	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する		
39	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
40	音読・読解	正しい発音の習得・N2レベルの文章を読み理解する		
41	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
42~ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習をする		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語総まとめN2文法 アスク出版 日本語総まとめN2語彙 アスク出版 日本語能力試験直前対策N1, N2 文 字・語彙・文法 国書刊行会		期末試験 中間テスト 出席率	40.0% 40.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
企業実務基礎		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年制)/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	采元 健二
授業の概要				
日本で働きたいと考えている外国人として、日本のマナーと身だしなみの理解&就職活動の流れと各種研究と敬語を学習する。				
授業終了時の到達目標				
日本での就職活動に必要なマナーと身だしなみを身に付け、業界研究・企業研究ができ敬語が話せるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	日本で働く	マナーと身だしなみ		
2	日本で働く	マナーと身だしなみ		
3	日本で働く	就職活動の流れ		
4	日本で働く	就職活動の流れ ワーク、ケーススタディ、日本語学習		
5	仕事を探す	仕事の探し方 ワーク、ケーススタディ、日本語学習		
6	敬語	敬語の基本 ケーススタディ、日本語学習		
7	敬語	企業担当者との会話マナー ケーススタディ、日本語学習		
8	敬語	企業担当者とのメールのマナー		
9	ビジネスマナーの整理	課題作成		
10	ビジネスマナーの整理	課題作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
外国人留学生のための就職活動テキスト		出席率 確認テスト 課題・レポート	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年制)/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	采元 健二
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の流れを知り、いつ、何を、どんな形でやるべきかを理解する ・就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する ・自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらう為に必要な表現力を高める 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の一連の流れを理解し、行動することができる ・身に付けた専門技術・知識について聞き手が理解しやすい言葉・文章で伝えることができる ・自己分析を行った上で、状況、立場に応じた自己PRを行うことができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	就職活動に臨むにあたって動機付け 就職活動の流れ 穴吹学園の就職のルール	就職の意義、働くとはについて 企業が求める人材について 就職活動(セミナー、会社訪問、入社試験)について 穴吹学園の就職活動ルールについて		
5	自己分析	自分の過去を振り返り、自分の強み、弱み等から自己分析を行う。 前向きな言葉で自分自身を表現する		
6	型から学ぶ文章術(1)	書く、話す、考える、文章の「型」を体得 型の例 なたもだ 等		
7~8	自己PR	自己分析した結果を文章にまとめる		
9~10	履歴書作成	履歴書作成 IT業界研究の授業の中で想定した企業に対して志望動機を考える		
11~12	面接対策	想定される質問に対して対策を行う(30問30答)		
13~15	面接練習	模擬面接を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・就職の手引き		課題・レポート 出席率	60.0% 40.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する